

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

ブロック研究大会ポスター報告会

中国ブロック（担当：島根県リーダー代表者 西村 亮圭）

テーマ	より実践的に楽しさをつたえる (リーダーとしての指導や団員との関わり方)
テーマ 設定理由	開催県として前回の研究大会のテーマを参考とし、より実践的に楽しんでもらうためにACPの要素を含んだオリジナルプログラムを考案した。 ・東京オリンピックを意識したバウムクーヘンづくり ・歴史や地域の要素を取り入れたカルタづくり また、同時開催されるスポーツ少年大会のプログラムの一部を任せることで、企画や実践をする楽しさを学んでもらう。

◆期日

◆場所

平成30年8月17日(金)～8月19日(日)

施設名：島根県立少年自然の家

◆参加者内訳

	岡山県	山口県	広島県	鳥取県	島根県	合計
リーダー	3名	2名	0名	0名	2名	7名
指導者	1名	1名	0名	0名	1名	3名
合計	4名	3名	0名	0名	3名	10名

◆経費

参加料：無料 旅費：参加者負担 運営費：県本部担当者に委任

◆運営スタッフの体制・運営方法

開催県が運営準備、開催県リーダー一会会員・育成担当指導者・県本部事務局が開催準備

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
 ブロック研究大会ポスター報告会
 中国ブロック（担当：島根県リーダー代表者 西村 亮圭）

◆日程

1日目：8/17(金)	2日目：8/18(土)	3日目：8/19(日)
11:00 受付 12:00 昼食 13:00 開会式・オリエン テーション 13:30 自己紹介・各県報告 15:00 創作活動 「バウムクーヘン作り」 16:30 講演 「海洋活動における安全管 理」 17:30 DVD 「熱中症予防について」 18:00 夕食 19:00 キャンドルの集いの 事前準備 20:00 野外活動 「ナイトハイク&星座の観察」 21:00 入浴・自由交歓 22:30 消灯・就寝	06:00 起床 07:00 朝の集い 07:40 朝食 08:30 荷物準備 09:00 日中交流報告 10:00 ディスカッション 「テーマ：リーダーとしての指導や団員と の関わり方」 12:00 昼食 13:00 移動 13:30 「SAP体験」 15:30 移動 16:00 炊飯活動 「竹筒飯盒・飯盒炊飯」 & 「バーベキュー」 19:00 活動運営 キャンドルの集いの運営及び補助 20:00 振り返り・意見交換 21:00 入浴・自由交歓 22:30 消灯・就寝	06:00 起床 07:00 朝の集い 07:40 朝食 08:30 荷物準備 09:00 ディスカッションと宿題 「テーマ：リーダーとしての指 導や団員との関わり方」 10:30 ディスカッション発表 11:30 閉会式 12:00 昼食 13:00 解散

研究大会のみ

全国連絡会の報告を受け、過去からの流れの把握

反省点とテーマについて協議
翌日以降のプログラムについて協議

キャンドルの集いの事前準備と実践

日中交流報告

SAP体験

朝の集いの事前準備と実践

意見交換

ディスカッション（まとめ）と宿題

共通プログラム

開会式

創作活動：バウムクーヘン作り
：カルタづくり

講義：海洋活動における安全管理
熱中症の予防について

ナイトハイク

炊飯活動：竹筒ご飯・バーベキュー

キャンドルの集い



◆共通プログラム概要

- ・自己紹介：不安な気持ちから楽しい気持ちに切り替わったことを認識させることが目的の自己紹介。黒板に具体的な自分の気持ちを書いてもらい、どのように変化したの可視化した。
- ・講義「海洋活動における安全管理、熱中症の予防について(DVD)」：ライフセーバー講師をお呼びし、翌日の海洋活動における注意点や事故にあった場合の対処法などを学んだ。
- ・炊飯活動：夕飯として竹筒飯盒を作った。初めての人が多かったが楽しくできた。
- ・創作活動「カルタづくり」：団員とリーダーに中国五県の歴史的、文化的なスポットの名前を伝えそれをもとに絵を描かせカルタを作ってもらった。知らないスポットは名前から類推したり連想するしかなく(例えば宍道湖という名前から湖を連想するといったもの)描く際戸惑う人が思惑通り続出した。



◆共通プログラム概要

・創作活動「バウムクーヘン作り」

オリンピックムーブメントにちなんで

青→ミント 黄→レモン味 黒→ココア味

緑→抹茶味 赤→食紅のみ

の5色のバウムクーヘンをつくった。

慣れない作業と色に戸惑い驚きながらも、
楽しんで作ることができた。

焼いた後は写真のように「2020」と

「オリンピックマーク」をバウムクーヘンで表現した。

インスタ映えを狙いました。[#バウムクーヘン](#) [#オリンピック](#)
[#ユニコーンカラー](#)

・ナイトハイク：暗闇の中少しの明かりで山道を歩き
星の観察をした。



研究大会のプログラムの一環として共通プログラムの一部を企画・実践した。

- ・バウムクーヘン作り
- ・キャンドルの集い
- ・朝の集い
- ・炊飯活動

そしてその都度、反省や課題などを検討していった。



令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
中国ブロック（担当：島根県リーダー代表者 西村 亮圭）

・バウムクーヘン作りでの振り返り

企画・実践
・団員への指示
・移動の際の誘導

良かった点
・リーダー自ら動く意思是
感じられた

研究大会参加者の意欲
>>>>
主催者側の期待

課題
・最初のプログラムで緊張していた
・開催県側とリーダーとの意思
疎通が足りなかった



改善案
・わからないことがあったら
遠慮せずに指導者へ相談
する
・自分のすべきことを事前
に確認しておく

炊飯活動の振り返り

企画・実践

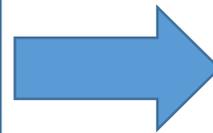
- ・団員への指示
- ・バーベキュー、竹筒飯盒の手伝い

良かった点

- ・リーダー自身が片付けや火おこしなど積極的におこなっていた
- ・バーベキューがおいしかった

課題

- ・リーダーが一人で行動している時があった
- ・団員への指示が不十分な時があった



改善案

- ・周りをよく見て自分のすべきことを考える。
- ・自分から周りの人に話しかける

キャンドルの集いの振り返り



企画・実践
 ・ゲームの企画

震源地

船頭さんの言うとおりに
 アリさんぞうさん

天邪鬼

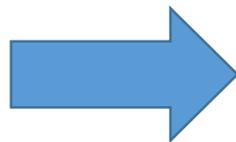
ダンスの指導・実践

良かった点

- ・途中時間が余ることがあったが臨機応変に対応できた（ミニゲームをするなど）
- ・リーダー自身が楽しんでいました。

課題

- ・一生懸命になりすぎて動きが固くなった。
- ・団員をうまくゲームの輪に入れることができなかった
- ・声が小さい時があった



改善案

- ・団員に積極的に声をかける（馴染めてない人）
- ・笑顔でいることを意識する。
- ・声が届いていたか確認する。

朝の集いの振り返り

企画・実践

- ・ラジオ体操の指導
 - ・ミニゲームの実施
- 人間知恵の輪
手つなぎ鬼

良かった点

- ・団員が楽しんでいた。
- ・指示がきちんと通っていた
- ・積極的に団員に話しかけていた

課題

- ・ラジオ体操をする前にミニゲームをしてしまったため体が動かずけがをしてしまう団員がいた。
- ・事前準備が不足していた。

改善案

- ・運動をするまえには事前の体操を徹底する。
- ・会場の下調べをキチンとしておく



1日目を経ての目標設定

・バウムクーヘン作りなどで自分たちの役割を見失う場面があった。



・問題点：連携が取れていない、思いだけで行動が伴っていない



・改善案：団員や指導者他のリーダーとコミュニケーションをしっかりとる



・方法：広い視点を持って状況を把握する、わからないときは聞く



・目標：リーダーだからこそできることがしたい！

指導者と団員とのパイプになりたい！



・結論：リーダーとしてどのように団員や指導者と関われるかを考える

◆大会を開催した成果、反省

成果

各県の団員と共通プログラムを通して交流することができた。

1つの失敗から10を学べることを再認識し次へつなげることを考えることができた。

少年大会のプログラムを企画・実践することにより※PDCAサイクルを何回か回すことができ、リーダー自身の成長につながった

（※PLAN（計画）→DO（実行）→CHECK（反省）→
ACTION（改善）→PLAN→・・・）

反省

開催県とブロック大会参加者とのあいだの意思の疎通が不十分だったため出だしで躓いてしまった。

基本的なことができていない（指導者との連携、準備運動など）ことが多々あったのでできるように徹底する。

◆宿題

次年度開催鳥取県に取り入れてほしいプログラムの提案